

9	だれにもやさしい 福祉のまちづくり 推進事業等	<b>事業内容</b> 「横浜に関わる全ての人がお互いを尊重し、助け合う、人の優しさにあふれたまちづくり」を実現するため、ソフト（知識や情報など無形の要素）とハード（施設整備など有形の要素）を一体的にとらえ、福祉のまちづくりを推進します。 また、福祉ニーズに十分に対応できるよう、環境等の整備を行います。	
本 年 度	3 億4, 492万円	<b>1 福祉のまちづくり推進事業〈拡充〉 1, 164万円</b> 福祉のまちづくり推進指針を普及啓発するため、 <b>動画等を活用した広報</b> を行います。また、2年度に引き続き条例の基準及び施設整備マニュアルを見直します。 (1) 「福祉のまちづくり推進会議」の開催 (2) <b>福祉のまちづくり条例に基づく施策の検討</b> （ <b>基準改正等、推進指針の広報</b> ） (3) 福祉のまちづくり普及啓発 (4) 条例対象施設についての事前協議・相談等  <b>2 ノンステップバス導入促進補助事業【中期】 2, 592万円</b> 誰もが乗降しやすいノンステップバスの導入を促進するため、導入に係る経費の一部を補助します。（47台）	
前 年 度	3 億5, 996万円		
差 引	△1, 504万円		
本年度の 財源内訳			
国	—		
県	—		
その他	428万円		
市 費	3 億4, 064万円		
<b>3 福祉有償運送事業 420万円</b>		福祉有償運送を行う特定非営利活動法人等の登録、検査等を実施します。また、登録に先立ち、福祉有償運送の必要性及び適正な実施等について関係者による事前協議を行うため、福祉有償移動サービス運営協議会を開催します。	
<b>4 再犯防止推進計画推進事業 153万円</b>		「誰もが安心して自分らしく健やかに暮らすための更生支援の方向性—横浜市再犯防止推進計画—」を効果的、効率的に推進するため、「横浜市更生支援ネットワーク会議」を通じて、刑事司法関係者と市内福祉関係者等との連携協力関係を築きます。	
<b>5 地域福祉保健関係職員人材育成事業等〈拡充〉 908万円</b>		(1) 区福祉保健センターや児童相談所等の社会福祉職・保健師に対し、経験年数に応じた階層別研修や専門職研修を実施し、地域福祉保健の推進を担う職員を育成します。 (2) 地域共生社会の実現を推進し、多様化・複雑化する市民の福祉保健ニーズに対応できる専門職職員を育成するために、学識経験者等のスーパーバイザーを区役所等に派遣します。 (3) 福祉保健ニーズの高まりにより、採用困難となっている専門職の職種紹介リーフレットを作成し、大学等に職種の魅力をPRします。 (4) <u>福祉保健センターの一部の訪問業務でタブレット端末の使用を検討し、業務改善を図ります。〈拡充〉</u>	
<b>6 福祉保健システム運用事業 2 億9, 255万円</b>		高齢・障害・児童福祉等のサービス提供に使用する福祉保健システムの運用保守等を行います。また、法・制度改正対応等の改修を行います。	